



どうなんだより

令和4年度夏号

株式会社 外崎農園 (厚沢部町)

～地域を牽引する大規模畑作経営～

地域を担う

農地所有適格法人の横顔



所在地：厚沢部町
設立：令和3年4月
代表者：外崎 明 (59歳)
従業員：1名
雇用：6名
事業内容：小麦55ha、馬鈴薯10ha
大豆13ha、小豆6ha
かぼちゃ6ha、水稻2.5ha
その他 (爆裂種トウモロコシ、山ゴボウ、トウキなど)

法人経営のメリット

- (1) 对外信用力の向上と経営継承の円滑化
- (2) 補助金や税制上の優遇

法人運営のポイント

- (1) 堅実な経営基盤づくり (人づくり・土づくり)
- (2) パートタイマーが働きやすい環境づくり

法人化を目指す農業者へ一言

複数戸の法人化が可能であれば、もっと効率的な農業経営を展開できる。

平成20年：北海道指導農業士認定
平成23年：檜山南部食用馬鈴薯生産組合 (組合長：H23～R2)
平成25年：協業法人結成 (ホップコーポ) 「あっさぶアグリスト倶楽部」
令和 2年：厚沢部町農業委員会 (会長)
令和 2年：厚沢部町農業発展推進政策 「農に生きる (会長)」
令和 3年：農業法人設立

◇令和4年度雇用就農資金を活用してみませんか？

トピックス

「雇用就農資金」事業参加者募集中 (窓口：全国農業会議所)
「49歳以下の就農希望者」を「雇用する農業法人等」へ「資金を交付 (全額国費)」

支援タイプ	助成期間	助成額 ※1～3
雇用就農者育成 独立支援タイプ	最長4年間	年間最大60万円 (月額5万円)
新法人設立支援		年間最大120万円 (月額10万円) (3-4年目は最大60万円) (月額5万円)

- ※1 各タイプともに、新規雇用就農者の増加分が支援対象。
- ※2 各タイプともに、新規雇用就農者が多様な人材 (障がい者、生活困窮者等) の場合、年間最大15万円 (月額1.25万円) が加算。
- ※3 事業実施期間が3ヶ月未満の場合、助成金は交付されない。

集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りのJAまたは普及センターまで。

編集事務局 (檜山農業改良普及センター)

電話番号 0139-53-6141